

技術委員会

建設技術フェア2013in中部

最新の技術や工法などが一堂に結集する建設技術フェア2013in中部が10月24日と25日の二日間、名古屋市千種区の吹上ホールで開催されました。

17回を迎える今回は、174者が防災・災害対策や維持管理・長寿命化を中心に5分野、187技術を出店。主催者企画として、現場の第一線で活躍する先輩が学生の質問に答える「学生交流ひろば」、屋外では災害対策車両展示や豪雨・地震体験コーナーを設置、一般来訪者にも広くアピールしました。

24日に行われた開会式で、主催者を代表し梅山和成中部地方整備局長は「地震や津波などに対する防災・災害対策や、社会資本の老朽化に伴う適切な維持管理・長寿命

化は重要な問題。これらの課題に対応するためにも、産学官の交流により技術をさらに向上させ、現場での導入につなげて欲しい」と挨拶されました。

また、長期出展者に対する感謝状を平出純一中部地方整備局企画部長から贈呈されました。

今回は新企画も充実しており、管内の道の駅が集結し観光案内や物産展、地域情報を発信する「道の駅ミニフェア」、小中学生が川や道をテーマに撮影した「ちびっこカメラマンコンテスト」、園児による絵画展を実施しました。

建設関係7団体の関係者が、大学生や高等専門学校生など将来の建設業を担う学生を対象に、「学生交流ひろば」は内容をさらに充実させて、素朴な質問から専門的な質問まで幅広く答えるようにしました。



建設技術フェア2013in中部開会式

ijutsu fair 2013 i



学生のための技術相談コーナー



中部地方整備局 梅山局長挨拶